令和2年度 事務事業総点検シート(1) [令和2年度事務事業(新規)]

	_							
一般会計							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	海洋プラスチック対策推	進事	業				シート番号	010-052
担当部署名	環境	局	環境都市推進	部	環境政策	課	評価責任者(課長名)	橋本

≪ I. 基本情報≫

	1	堺市マスタープランの政策体 系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市る	寺続可能な環境共生都市を実現します						
	施策 2 循環型社会推進と自然環境の保全・再生							無				
#	2	事業開始年度		令和	2 年度	終了(予定)年度	_	年度				
基本情	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)										
報	4	関連計画										
	5	事業実施の経緯	OG20大	反サミッ	小にて、海洋プラスチックご	sの達成に向けた取組を推進 みによる新たな汚染を2050 ⁴ ジョンの達成に向けた取組	までにゼロにすることを					

≪Ⅱ.事業概要≫

	6	事業の実施主体		本庁		各区		出先機関	()		市外郭	『団体	
	0	(誰が実施しているのか。)		地域区	□体・	市民		□ 民間企業	·NPO	I	コ その	他	(•)
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としている のか)	市	民、事	業者等	Ē		·		·	·										
	8	事業の目的 (どのような状況にしたい のか)	ij-	ーなライ	フスタ	イルイ	への	ラスチックの過 転換を促す、使 ンの達成に寄	い捨てプ												
事業概要	9	事業内容 (スケジュール、実施方 法・手段、事業ボリューム など)	を () ()	舌用した 使い捨っ	普及 て食器 業者と	啓発をの消の協	実施費量	が多い市内のより、海洋プラ	イベントヤスチックご	゙゚゚゚゚ゕ゚゚゚	つりを対象	えに、決に	リユース	食器	を導 <i>入</i> 食討・	、する	0	゚゚ヺス゠゙	チック削	減ガイ	ド等
	10	直接実施以外の主な支出先		1				l .							1						

«	Ш.	投入量≫		平成2	9年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和2年度
		項目	単位	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
		事業費(a)	千円	0	0	0	0	0	0	3,077
		主 使用料及び賃借料	千円							1,981
		消耗品費業	千円							455
		報償費	千円							300
事業	11	=======================================	千円							197
\neg		国·府支出金	千円							
スト		財 受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		源市債	千円							
		訳 その他(環境保全促進助成金)	千円							800
		一般財源	千円							2,277
	12	2 人件費(b)	千円		0		0		0	4,510
	13	3 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	0	0	7,587

事務事業名 海洋プラスチック対策推進事業 シート番号

≪Ⅳ. 評価 (測定・分析)≫ ロジックモデルの考え方

活動(アクティビティ) 問題に対処するための 具体的活動

因果関係

活動結果(アウトプット) 活動が実施されたこと を示す事実

因果関係

成果(アウトカム)

期待される変化

目的の達成に寄与

010-052

【達成率に基づいた評価基準】

 評価
 達成率

 大変良い
 120%以上

 良い
 100%以上120%未満

 普通
 80%以上100%未満

 少し悪い
 60%以上80%未満

 悪い
 60%未満

[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

〔15〕または〔16〕に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

	<u>~</u> `	り						
					令和元年度実績			
	1.4							
	14							
:=								
加動								
活動実績								
績								
۲		指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
と成果		レジ袋辞退率		目標値				60
未			%	実績値				
	15		/0	達成率				
				評価				
		算出方法・設定根拠など	令和え	年度実績	:40%(「堺市域におけ	る使い捨てプラスチ [、]	ック削減に関する協足	官」締結事業者にお
				ジ袋辞退	率の平均値)、国のレ			
		指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標値				37
	16	マイボトル携帯率	%	実績値				
	10	マイルドル技術学	/0	達成率				
				評価				
		算出方法・設定根拠など	おおさ	かマイボトル	レパートナーズ2025年目	目標:80%(2019年12月)	時点:28%)	

車業の効率性

未	い知4	严]生				
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1					
17	2	上記①にかかる年間経費	千円			
	3	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考	(算出についての説明等)				
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1					
18	2	上記①にかかる年間経費	千円			
	3	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考	(算出についての説明等)				

業績の分析

19

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に 問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- O RPA等をはじめとするICTを活用 する余地はありませんでしたか。
- O ターゲットに応じた最適媒体の 選定など、戦略的な広報ができ ていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名 海洋プラスチック対策推進事業 010-052 シート番号

≪Ⅴ. 点検≫

- <点検の前提>
- へ 点機の前旋/ ○新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる ○新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業廃止の可能性 □ 廃止できる ■ 廃止できない 事業休止の可能性 □ 休止(延期)できる		ウマイクロプラス 建康 や生活環境等 止 <mark>の場合の再開時期</mark>
	とが想定される中、当該事業を廃止できないか。 (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業	■ 廃止できない 事業休止の可能性	チックによる化学物質汚染等が発生した場合、市民の優に大きな影響を及ぼすことから、廃止できない。 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休	津康や生活環境等 ルの場合の再開時期
21	かった場合) 本市財政運営が厳しくなるこ とが想定される中、当該事業		П	
21	かった場合) 本市財政運営が厳しくなるこ とが想定される中、当該事業	□ 休止(延期)できる	必要のない使い捨てプラスチックの使用の増加に □	A 1= a + + +
		■ 休止(延期)できない	より、プラスチックごみの増加につながる可能性が 口あることから、休止できない。	令和2年度中 令和3年度 令和4年度以降
		コストの縮減	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場	
	(20で廃止できるを選択しな	□ 一部廃止しコスト縮減できる	WEINS CC O'SS I TO SET THE STATE OF THE SET	
22	かった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模 を縮小するなど、コスト縮減を	□ 一部休止しコスト縮減できる□ 規模等を縮小しコスト縮減できる	新型コロナウイルス感染症の状況により、令和2年 ユース食器導入イベントが限定され、リユース食器 減できる可能性がある。	
	図ることができないか。	事業手法等を改善しコスト縮減できる□ 縮減できない	WAR CO STIBILIA O GO	
		事業手法の適切性	改善な善する場合は改善策、その他は理	irth
23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	■ 改善する必要がある □ 改善する必要がない □ 既に対応できている	海洋プラスチック対策に係るイベント等を実施する版 イルス感染症対策をとる必要がある。	
		************************************		ナクナン坦クはロン
24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① ■ 公民連携の推進 ② ■ ICT活用による効率化 他部局との適切な連携・役割分担 ③ □ 関係部署名 () 関連事業名 () ④ ■ 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ □ 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ □ その他()	間事業者等と連携しながら、効果的・効率的な耳していく。 また、関西広域連合のプラスチック対策検討会・ 説 務局を担うおおさかマイボトルパートナーズに参	デアを有する民 対組を検討・実施 や、大阪府が事 画するなど、周
		事業の方向性		実施年度
		□ 廃止 □ 休止または延期 □ 事業を縮っ	小 □ 改善して継続 ■ 現状を継続 □ 事業を拡充	□ 令和2年度
		改善できないか。	改善できないか。	改善できないか。 4 ■ 国・府等との適切な役割分担・連携 5 □ 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 6 □ その他()